

事務事業名	社会体育施設修繕事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課 スポーツ文化振興室		
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	スポーツ文化振興G	課長名	原田 憲一	
	施策名	〈30〉生涯スポーツの振興		担当者名	三島 祐一	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2241	
	目的	対象	市民	意図	生涯を通じて、スポーツや運動に親しみ、スポーツや運動を楽しみ、支える。			
	基本事業	〈088〉スポーツ環境の充実		予算科目	0:150:0:1 3:0:1:0:2:8	大事業名	体育施設管理事業	
目的	対象	市民	意図	スポーツ活動に親しむ。			中事業名	社会体育施設修繕事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	スポーツ環境を整えることにより、スポーツや運動を安全に行うことができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( R元 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	市内社会体育施設の維持管理(修繕)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①調査 ②協議 ③積算業務 ④発注業務 ⑤完了確認	社会体育施設の整備から年数が経過し全体的な視野で計画的修繕を行う必要が生じてきた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
A 雲南市のスポーツ環境が整っていると感じる市民の割合	%	46.8	46.1	46.7	47.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
需用費(修繕費) 8,173千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
工事請負費 7,359千円		県支出金	千円			
計 15,532千円		地方債	千円			6,600
(主な修理項目)		その他	千円			3,800
アスバル 音響機器(電波法対応) ラソテ ろ過装置 [地方債]合併特例債		一般財源	千円	7,652	8,422	8,932
	事業費計	千円	7,652	8,422	15,532	8,850

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	専門的知識を要する案件については、業務を建設部建築住宅課に依頼し修繕工事を実施した。規模の小さい修繕箇所については課内および施設管理者と協議しながら優先順位を決定し、業務の発注にあたった。
② 事業実施するうえでの課題	・市民や利用者、施設管理者から施設の修繕要望があり、ニーズや規模、予算の大小等様々である。この為、優先順位をつけながら対応をしている。 ・施設全体の老朽化が進んでいる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・優先順位により、修繕に着手しているが突発的な案件が生じている。 ・国民スポーツ大会など施設整備が必要となる施設については、計画的な修繕を行っていく。